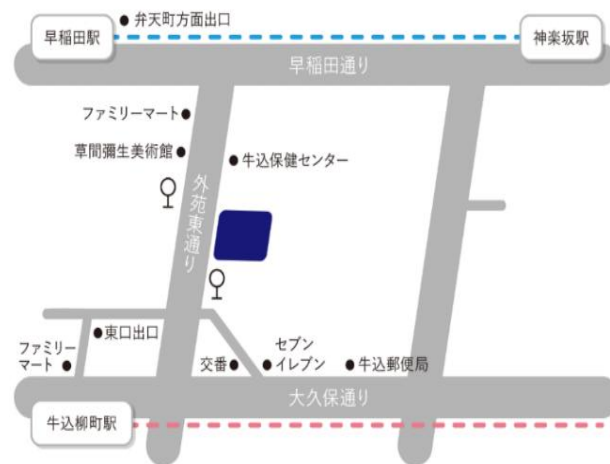


ご挨拶

夜型化・短時間睡眠化の進行や労働環境の変化に伴うストレス増加により、慢性的な睡眠障害をもつ人が増えています。日中の眠気は注意・集中困難、倦怠感、意欲低下など日常生活に様々な支障をきたし、仕事や学業への悪影響、交通事故・労働災害といった社会経済的損失につながる深刻な問題です。眠気の原因は多彩であり、適切な治療のためには正しい診断が不可欠です。最も多い原因は睡眠不足で、“眠れない”慢性不眠障害と“眠らない”睡眠不足症候群、概日リズム睡眠覚醒障害は多くの人に見られます。また、睡眠時間が確保されていても睡眠の質が低下することで日中の眠気が生じる場合があります、その代表が睡眠時無呼吸症候群です。日本でも900万人以上が中等症以上と推定されており、寝相の悪さや歯ぎしりも同様に睡眠を妨げる要因となります。さらに、夜間睡眠の量・質が正常であっても強い日中の眠気をきたす中枢性過眠症（ナルコレプシー・特発性過眠症など）も存在します。このように過眠症状の背景には様々な疾患が潜んでいるため、睡眠検査による正確な評価が重要です。晴和病院では、こうした多様な睡眠障害の診断・治療体制を整えています。反復睡眠検査（MSLT）では正常と判定されるタイプの中枢性過眠症も、24時間睡眠検査によって診断が可能です。また、睡眠時無呼吸症の治療後に残存する睡眠障害の評価にも対応しています。睡眠障害でお困りの方は、ぜひ晴和病院の睡眠外来・睡眠検査室にご相談ください。

神経研究所睡眠センター長 本多真

アクセス



電車ご利用の場合

- ・都営大江戸線 牛込柳町駅（東口出口）徒歩 5 分
- ・東京メトロ東西線 早稲田駅（弁天町方面出口）徒歩 10 分
- ・東京メトロ東西線 神楽坂駅（矢来町方面出口）徒歩 12 分

バスご利用の場合

- ・都バス白 61（新宿駅西口 - 練馬車庫）牛込弁天町停留所 徒歩 0 分
- ・都バス橋 63（大久保駅 - 新橋駅）牛込柳町停留 徒歩 5 分

駐車場

コインパーキング：11 台

※睡眠検査入院に対する割引はありません

公益財団法人神経研究所

附属 晴和病院

〒162-0851 東京都新宿区弁天町 91

電話 03—5579-8691

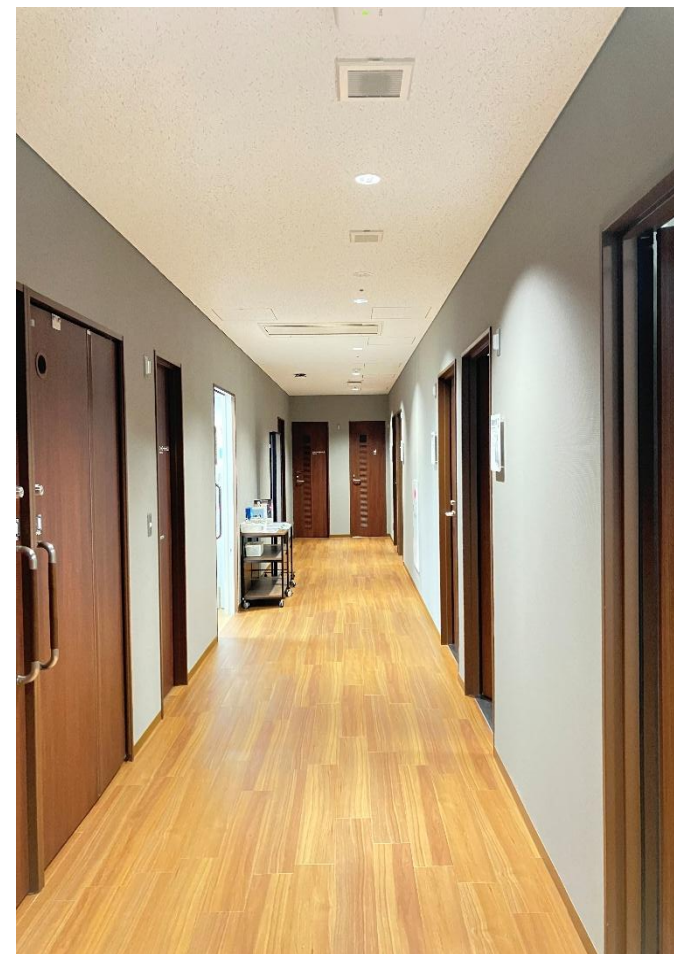
晴和病院 HP
QR コード



公益財団法人神経研究所

附属 晴和病院

睡眠診療のご案内



精神科・睡眠障害外来

晴和病院

昭和 26 年、東京大学医学部教授の内村祐之により知人友人の子弟の治療のため、当時先進的な全開放の精神科病院として開設されました。

長年にわたり地域に根差し「安全、信頼、和の精神医療の提供」を理念にもち、精神科医療を継続してまいりました。

2025 年 4 月、病院建て替えにより新体制での医療を開始し「治す医療」から「治し支える医療」に配慮し「障害者の社会参加を都心で現実」を目指しております。

当院の睡眠医療

当院では睡眠障害として社会的認知度の高い「睡眠時無呼吸症候群」のみならず、あらゆる睡眠障害にたいして高度な医療を提供しています。

医療スタッフには、日本睡眠学会専門医、日本睡眠学会専門技師が多数在籍し、日本睡眠学会専門医療機関としても認定されています。

睡眠センター長 本多 真

- ・日本睡眠学会指導医
- ・日本睡眠学会総合専門医
- ・日本睡眠学会理事
- ・精神保健指定医



診療対象睡眠疾患

主な睡眠障害

- ・睡眠関連呼吸障害 ・不眠症(Comisa 含み)
- ・中枢性過眠症 ・概日リズム睡眠・覚醒障害
- ・睡眠時随伴症 ・睡眠関連運動障害

精神疾患併発睡眠障害

- ・神経発達症 ・うつ ・神経症

実施睡眠関連検査

入院検査

- ・終夜睡眠ポリグラフ検査
- ・24 時間睡眠ポリグラフ検査
- ・反復睡眠潜時検査(MSLT)
- ・覚醒維持検査 (MWT)

在宅検査(外注検査)

- ・在宅簡易 PSG 検査
- ・在宅睡眠ポリグラフ検査



睡眠検査設備

睡眠検査室 5 室

- ・通常検査室 3 室
- ・付き添い可能検査室：1 室(簡易ベッド)
- ・シャワー トイレ付検査室：1 室

※24 時間 PSG 専用検査室となります

- ・全室洗面台、TV、空調完備
- ・室外シャワー室：2 室

※シャンプー、ボディーソープ等備え付け

- ・室外トイレ：2 室
- ・アメニティセット(有料)

※病衣、タオル、歯ブラシ、スリッパ

